

# 「平泉の文化遺産」の 寺社を知ろう！

世界遺産登録に向けた調査や審査が、いよいよ間近に迫ってきました。それに伴い、さまざまなことを尋ねられる機会も多くなってきています。このコーナーでは、「平泉の文化遺産」を構成する寺社について、それぞれの立場から分かりやすく解説していただきます。

## 第4回 釈尊院五輪塔

五輪塔は、下から地輪、水輪、火輪、風輪、空輪の五つからなり、仏教の密教の五大思想をあらわしたもので、中世以降において、供養塔や墓塔として多く造られました。

釈尊院五輪塔は、わが国における在銘最古の五輪塔として著名であり、基準資料として価値高いものです。石造で、材質は凝灰岩、高さは149.0㍎あります。五輪のうち、惜しいことに風輪は長い年月の間に失われてしまいました。最下層の地輪の下には、台石があります。その上部にはハスの花が逆さに彫刻されていて、その下の前面に、向かって左から次の銘文が横向きに刻まれています。「仁安四年己丑四月二十三日檀主□□」。江戸時代、安永年間（1772～1781）につくられた『安永風土記』では、檀主の次の一字を「秀」と読んでいます。仁安4年（1169）は、まさしく奥州藤原氏三代秀衡の生きていた時代です。

地、水、火、空の各輪には梵字（古代インド語の文字である、サンスクリット）が刻まれ、特に地、水輪の梵字の周囲には月輪が陽刻され、下方に蓮座が付されて装飾されています。

昭和53年（1978）に解体修理が行われ、その際には、地下遺構調査も実施されましたが、この塔が当初から

この地に造立されたことを示す資料は発見されませんでした。平成9年にはこの貴重な石造五輪塔を保護するために覆屋が設置されました。

（釈尊院五輪塔は、一般公開されていない区域に所在しています。見学をご希望の場合は、事前に中尊寺までご連絡ください）

中尊寺 北嶺 澄照



釈尊院五輪塔

# 平泉を掘る

祇園 遺跡は平泉字祇園・樋渡・新井田に位置します。本年度の第3次調査は八坂神社の北方約150㍎、国道4号の近くを調査し、掘立柱建物1棟、溝跡2条、



調査区全景（南から）

## 発掘最前線⑤9

平安時代の倉庫跡を発見一祇園Ⅱ遺跡第3次調査一

柱穴16個が見つかりました。

掘立柱建物は東西3.9㍎、南北4.9㍎の規模です。9本の柱が「田」の字状に配置されています（総柱）。柱の直径は20～30㍎、柱を立てるために掘った穴が直径60～90㍎、深さ60～70㍎ほどありました。

柱穴からは須恵器が出土していますので、この建物は平安時代（9～10世紀）の建物とされます。

このような建物は岩手県内では盛岡市、北上市、奥州市などの北上川中流域を中心に30数例見つかっていますが、平泉町内では初めて見つかりました。

総柱建物は、米等の穀物を貯蔵する高床式の倉庫と考えられており、今回発見された建物も大きな集落（ムラ）の一角に設置された倉庫跡ではないかと考えられます。この建物は、12世紀に比べ、資料が少ない藤原氏以前の平泉を考える上で、貴重な発見となりました。

文化財センター 島原 弘征



大会では星野椿先生による講演も行われた

当町とゆかりの深い俳人・松尾芭蕉をしのぶ平泉芭蕉祭全国俳句大会が6月29日、毛越寺で行われました。今年、事前に募集した兼題の部に全国から693句、当日会場で受け付けした席題の部に222句、小中学校の部に801句の投句があり、次の作品が特選に輝きました。

## 席題の部

- 【星野椿先生選】
  - 一席 花あやめふと秀衡といふ御方
  - 二席 開山堂蜘蛛が罫を張る礎石かな
  - 三席 光堂奥に千年夏椿
- 【小原啄葉先生選】
  - 一席 東福山は寝釈迦の姿青田風
  - 二席 興亡の地を擦り歩く梅雨の蝶
  - 三席 ステッカーの世界遺産や虹の中
- 【佐治英子先生選】
  - 一席 三衡の森の闇より木葉木菟
  - 二席 遣水のそれより清く咲くあやめ
  - 三席 あやめ園傘傾けてすれ違ふ
- 【戸塚時不知先生選】
  - 一席 蓮ひらく秘仏の乳房あかりとも
  - 二席 白あやめ雨に照るとも翳るとも
  - 三席 毛越寺初めて借りる梅雨の傘
- 【菅原多つを先生選】
  - 一席 五月雨の音速めたり毛越寺
  - 二席 降り出しの雨に香のたつ花あやめ
  - 三席 高館の雨に煙れり花あやめ
- 【小林輝子先生選】
  - 一席 龍頭の舟を池心にさみだるる
  - 二席 千年の寺の床踏む素足かな
  - 三席 苔踏みて奥のあやめに近づけり
- 【小菅白藤先生選】
  - 一席 あやめ園ぼんやり松の濡れてをり
  - 二席 遣水の流れ早まり梅雨に入る
  - 三席 千年の寺の床踏む素足かな
- 【小原啄葉先生選】
  - 天 菊根分日がな知足の余生なる

## 児童・生徒の部

- 【佐治英子先生選】
  - 地 玄米の甘さ昭和の日なりけり
  - 人 鶯や切字を巧く使ひをり
- 【小林輝子先生選】
  - 天 ひそと咲く都忘れや義経堂
  - 地 田を植えて夕日の水を満しけり
  - 人 束稲山へひとすぢの雲初桜
- 【戸塚時不知先生選】
  - 天 臘夜や持ちかへて鳴る鍵の束
  - 地 毛越寺まはりの春田打たれけり
  - 人 春耕のはじめの小石拾ひけり
- 【菅原多つを先生選】
  - 天 土産屋の旗の水色夏逃す
  - 地 玄米の甘さ昭和の日なりけり
  - 人 流し難くづれぬまま遠ざかる
- 【小菅白藤先生選】
  - 天 光堂にて終りけり花の旅
  - 地 田を植えて夕日の水を満しけり
  - 人 臘夜や持ちかへて鳴る鍵の束
- 【平泉小学校】
  - 特選 タぐれに夕日かがやく秋の空
  - 特選 葉桜の下を義経馬で行く
  - 特選 セミが鳴く短い命けん命に
- 【長島小学校】
  - 特選 泣きべそにホタルが来たよなぐさめに
  - 特選 田植えて父の苦勞が身にみみる
  - 特選 貝がらを耳にあてると波の音
- 【平泉中学校】
  - 特選 紫陽花に大粒の涙光つてる
  - 特選 夜の空ドンと笑顔が舞い上がる
  - 特選 葉の上に蛸輪一匹絵を描く